

令和5年度協働事業提案制度 公開中間ヒアリング

日時 令和5年10月29日（日）

午後2時40分～午後4時10分

会場 けやき会館 2階 大研修室

時間	区分	内容	事業概要	団体名	事業担当課	採択年度
14:40			< 開会 >			
14:40	市民	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成	中山間地域への入口（ゲート）に位置する「城山自然の家」を観光ゲートとし、相模原市緑区の城山エリアにおける特徴的な観光である自然散策をe-bikeツアーと組み合わせることでアクティビティ要素を加えた体験型観光に昇華し、当該エリアが抱えている課題（二次交通、来訪者属性の偏り、認知度の低さ、観光資源の未成熟さなど）の解決を図る目玉コンテンツとして造成する。	城山観光協会	観光・シティプロモーション課 城山まちづくりセンター	R4
15:00	市民	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業	鹿や猪は農作物を荒らすとして有害獣として扱われるが、野生動物の命の尊厳を守り、野生動物と人間との共生の在り方について市民と共に考える場を作り、生物多様性の保全と理解を促進する。	野生動物との共生の会	緑区役所区政策課	R4
15:20			休憩（10分）			
15:30	市民	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業	現在、相模原市には、シビックプライドを醸成するための代表的な教育プログラムはなく、市の魅力を「パスルとクイズカード」で遊びながら学べ、シビックプライドを涵養する教育プログラム（＝ゲーム）を開発する。	相模原市印刷広告協同組合	観光・シティプロモーション課	R4
15:50	市民	里山保全・再生と活用のモデル検討事業	森林面積が6割の相模原市には、街に接する里山林が多数あるが、その活用が不十分のため、手入れや再生が行き届かない里山林が多い。そのために、里山林の積極的な活用を通して、その保全と再生を図る。	特定非営利活動法人自遊クラブ	森林政策課	R4
16:10			< 閉会 >			

主催 NPO法人市民フォーラムさがみはら 相模原市

公開中間ヒアリングについて

協働事業提案制度公開中間ヒアリングは、事業の進捗状況や協働の状況、成果を検証し、協働事業提案制度事業としての妥当性や継続性などについての評価を行い、次年度の継続を希望する事業の継続可否について審査を行うとともに、協働を学びあう場として開催します。

また、中間地点においてしっかりと双方が事業の振り返りを行う機会を持つことで、より質や効果の高い協働事業となることを期待しています。

公開中間ヒアリングに臨むにあたり、評価項目が18ある中間ヒアリング調書を実施団体と事業担当課がそれぞれ事前に作成しています。

それぞれが行ったa～dの評価を点数化し、各事業における実施団体と事業担当課の意識差を次ページに掲載しています。

こうして、意識に差がある部分は何かを明らかにすることにより、今後のより良い事業実施につなげていくことも、このヒアリングの目的としています。

また、実施団体と事業担当課が作成したヒアリング調書もあわせて掲載していますので、ヒアリングを聞く際の参考としてください。

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成					
団体の名称	城山観光協会					
事業担当課	観光・シティプロモーション課 城山まちづくりセンター					
事業の概要	中山間地域への入口（ゲート）に位置する「城山自然の家」を観光ゲートとし、相模原市緑区の城山エリアにおける特徴的な観光である自然散策をe-bikeツアーと組み合わせることでアクティビティ要素を加えた体験型観光に昇華し、当該エリアが抱えている課題（二次交通、来訪者属性の偏り、認知度の低さ、観光資源の未成熟さなど）の解決を図る目玉コンテンツとして造成する。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	【城山自然の家の有効活用とe-bikeを活用したツアー造成を契機とした城山エリアの振興】 1. 「城山自然の家」・・・①観光案内所としての機能の充実 ②地場産野菜やお土産品の販売 ③各種媒体を利用しPR活動を推進 ④e-bikeツアーの事務処理を行う。 2. 「e-bikeツアー」・・・①持続可能なツアー手法の検討（担い手のガイドスキル習得、商品内容・価格決定） ②地域資源の体験コンテンツ化（e-bikeと組み合わせた地域資源の磨き上げ） ③地域への波及効果（ツアー前後の立ち寄りなどによる消費効果を創出）					
令和5年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。					
	1. 「城山自然の家」・・・4月～6月：①検討部会メンバーの決定 ②案内所内の片付け ③展示物の検討 ④案内所内のインフラ整備（電話、コピー機、ネット環境等） ⑤自然の家の開所 7月：⑥地元関係団体への説明と協議 ⑦自販機設置 8月～9月：⑧地元農家への野菜の提供依頼、⑨地元の野菜やお土産品の販売 2. 「e-bikeツアー」・・・4月～6月：①検討部会メンバーの決定 ②e-bikeツアーのコンセプト作り 8月：③委託業者の決定と見積もり ④委託業者との契約 ⑤観光協会（e-bike検討部会・法政大学生）と行政（相模原市観光・プロモーション課、城山まちづくりセンター）と委託業者（株あさひ）との3社による協働事業の確認と定期会議を実施 9月：試乗会の実施 12月～3月：⑥モニターツアー計4回の実施（1日2本で12月と3月に実施） 3. 1. 2の共通の取り組み・・・8月～3月：地域情報誌、観光協会のHP、タウンニュース、フェイスブック、株あさひの広報紙等を活用し広くPR活動を展開する。					
令和5年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	1. 「城山自然の家」・・・上記今年度の実施予定の①～⑨の事業内容をこの上期に進めてきたが、それぞれについてまだ道半ばのため下期の活動を通じて達成して行く。 2. 「e-bikeツアー」・・・上記今年度の実施予定の①～⑥の事業内容をこの上期に進めてきたが、それぞれについてまだ道半ばのため下期の活動を通じて完成して行きたい。					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	1. 「城山自然の家」・・・上記今年度の実施予定の①～⑨の事業内容をこの上期に進めてきたが、それぞれについてこの下期の活動を通じて完成して行く。 1) 9月～10月：元農家さんへの声掛けを通じて安定した仕入れが出来るようにした上で販売を促進する。 2) 11月～12月：各種媒体を使い城山自然の家での地元野菜やお土産のPRを進めて行く。 2. 「e-bikeツアー」・・・上記今年度の実施予定の①～⑥の事業内容をこの上期に進めてきたが、検討部会メンバーのほとんどがe-bikeに乗ったことが無いことから議論が進まない面があった。上期に実施した検討部会メンバーによるe-bike試乗会を行った結果議論が進むようになり12月のモニターツアーに向け現在検討中である。 1) 10月：e-bike試乗の結果を踏まえ走行コースの実証、お客のターゲット、需要の確認、モニターツアーのコース選定（モニターツアーは2～3のコースを実証）、日程、参加費、アウター案等 2) 11月：コースマップ作製、モニターツアーの最終要綱決定、モニターツアーの参加者募集。 3) 12月：第1回・第2回モニターツアー 4) 3月：第3回・第4回モニターツアー実施、プロモーション用写真パネル・動画作成					
9月末現在での事業達成度・・・40%						
1. 地元関係団体への説明会（地域の自治会、城山里地里山観光振興競技会、城山まちづくり会議等） 2. 城山自然の家訪問者数（6月より正式に開設）は広く宣伝していない中6～9月までの月平均で50名訪問。今後は野菜購入のため来場者は大幅に増える見込みである。 3. e-bikeツアー検討部会メンバーによる試乗会開催（コースを変え2回実施、16人試乗参加） 4. e-bikeモニターツアーの開催（12月と3月実施のため実績なし） 5. e-bike検討部会会議は6月から毎月開催、（9月、10月は月2回開催） ※城山自然の家、e-bikeツアー共4月～7月は準備期間としての活動であったため、実質的な活動は8月以降となり事業達成は下期の活動による。						
事業予算額	2,093 千円					
うち市負担金額	1,815 千円 （市負担割合 87 % ）					

令和6年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	2,426 千円	(当初提案時の金額：)	2,740 千円)
令和6年度 市負担金希望額	1,941 千円	(当初提案時の金額：)	2,192 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 「城山自然の家」の運営については城山まちづくりセンターと共に協議をしながら進めている。少し遅れは有るが特に下期対応が多いことから進捗には問題はない。「e-bikeツアー」については初めてのことで検討部会のメンバーが戸惑うことが多かったが、相模原市観光・シティプロモーション課と城山まちづくりセンターのご指導そして、委託業者として経験豊かな(株)あさひに参画いただいたことにより計画が一気に進んでいる。			
B：事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) e-bikeツアーについては県下でも実施例が少なく、どれだけのニーズが有るのか不安なところは有るが、相模原市観光・プロモーション課、城山まちづくりセンターのご支援と、自転車メーカーでサイクルツアーの実績が多い(株)あさひとの委託事業により安心して取り組むことができそうである。予算面では、城山自然の家の人件費が8月から12月までの5か月分しか出ないため、一年を通じての支援をいただきたい。			
C：協働したことの効果 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) e-bikeツアーは採算性がある事業となるかどうかは不明な点が多い。しかし城山地区らしい斬新なアイデアを入れ込み参加してみたいと思うようなアイデアを入れ込んで4回のモニターツアーを実施する。その結果顧客のニーズを反映した内容とすれば目標を達成できると考える。			

D: 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解: 互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有: 協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意: 互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係: 対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 相模原市観光・シティプロモーション課そして榎あさひからのアドバイスにより事業が順調に進んでいます。				
E: 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性: 事業をやって良かったと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性: 協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 以下の点から本事業は協働事業として必要と考える。 ①城山地区には観光者を目的とした観光案内所、地場産品販売所が無く、その両方を兼ねた「城山自然の家」の活用が望まれている。 ②城山地区の山間地域における新たな観光目的として有効である「e-bikeツアー」が観光の目玉として有効である。 ③「e-bikeツアー」により観光が点から線になり「城山自然の家」がその案内と運営の中心となる。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性: 事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 初めての試みであるe-bikeツアーの推進に当たって、役割分担以上の支援を相模原市観光・シティプロモーション課と城山まちづくりセンターからいただいています。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
F: その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。 ○「城山自然の家」・・・JA津久井農協やスーパーに納入している地元農家さんに余ったものが有れば分けて欲しいと依頼。これらの農家さんからは安定した仕入れが可能となる。 ○e-bikeツアー・・・法政大学の学生さんにe-bikeツアー検討部会入り事業に参画していただいている。今後ツアーガイドのメンバーになっていただく計画である。				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。 本プロジェクトに対し、地元の法政大学のソーシャルイノベーションセンター長、コーディネーターそして学生にe-bike検討部会メンバーとして参画していただき、事業の広がりを見せている。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。 多大なるご指導をいただいています。引き続きご支援を宜しくお願いします。				
その他	11月12日にはe-bikeツアーと同じコースで自転車ヒルクライムレース『城山湖ヒルクライムアタックめたつごステージ』が開催されます。また11月か12月には城山湖里地里山連絡協議会主催の発電所見学や他の団体によるハイキングがe-bikeツアーコースで開催されます。				

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成					
団体の名称	城山観光協会					
事業担当課	観光・シティプロモーション課 城山まちづくりセンター					
事業の概要	中山間地域への入口(ゲート)に位置する「城山自然の家」を観光ゲートとし、相模原市緑区の城山エリアにおける特徴的な観光である自然散策をe-bikeツアーと組み合わせることでアクティブ要素を加えた体験型観光に昇華し、当該エリアが抱えている課題(二次交通、来訪者属性の偏り、認知度の低さ、観光資源の未成熟さなど)の解決を図る目玉コンテンツとして造成する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>【城山自然の家の有効活用とe-bikeを活用したツアー造成を契機とした城山エリアの振興】</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・①観光案内所としての機能の充実 ②地場産野菜やお土産品の販売 ③各種媒体を利用しPR活動を推進 ④e-bikeツアーの事務処理を行う。</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・①持続可能なツアー手法の検討(担い手のガイドスキル習得、商品内容・価格決定) ②地域資源の体験コンテンツ化(e-bikeと組み合わせた地域資源の磨き上げ) ③地域への波及効果(ツアー前後の立ち寄りなどによる消費効果を創出)</p>					
令和5年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>1. 「城山自然の家」</p> <p>4月～6月: ①検討部会メンバーの決定 ②案内所内の片付け ③展示物の検討 ④案内所内のインフラ整備(電話、コピー機、ネット環境等) ⑤自然の家の開所</p> <p>7月: ⑥地元関係団体への説明と協議 ⑦自販機設置</p> <p>8月～9月: ⑧地元農家への野菜の提供依頼、⑨地元の野菜やお土産品の販売</p> <p>2. 「e-bikeツアー」</p> <p>4月～6月: ①検討部会メンバーの決定 ②e-bikeツアーのコンセプト作り</p> <p>8月: ③委託業者の決定と見積もり ④委託業者との契約 ⑤観光協会(e-bike検討部会・法政大学生)と行政(相模原市観光・シティプロモーション課、城山まちづくりセンター)と委託業者(株あさひ)との3社による協働事業の確認と定期会議を実施</p> <p>9月: 試乗会の実施</p> <p>12月～3月: ⑥モニターツアー計4回の実施(1日2本で12月と3月に実施) 3. 1・2の共通の取り組み</p> <p>8月～3月: 地域情報誌、観光協会のHP、タウンニュース、Facebook (株あさひの情報紙等を活用し広くPR活動を展開する。</p>					
令和5年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・上記今年度の実施予定の①～⑨の事業内容をこの上期に進めてきたが、それぞれについてまだ道半ばのため下期の活動を通じて達成して行く。</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・上記今年度の実施予定の①～⑥の事業内容をこの上期に進めてきたが、それぞれについてまだ道半ばのため下期の活動を通じて完成して行きたい。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・上記今年度の実施予定の①～⑨の事業内容をこの上期に進めてきたが、それぞれについてこの下期の活動を通じて完成して行く。</p> <p>1) 9月～10月: 地元農家さんへの声掛けを通じて安定した仕入れが出来るようにした上で販売を促進する。</p> <p>2) 11月～12月: 各種媒体を使い城山自然の家での地元野菜やお土産のPRを進めて行く。</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・上記今年度の実施予定の①～⑥の事業内容をこの上期に進めてきたが、検討部会メンバーのほとんどがe-bikeに乗ったことが無いことから議論が進まない面があった。上期に実施した検討部会メンバーによるe-bike試乗会を行った結果議論が進むようになり12月のモニターツアーに向け現在検討中である。</p> <p>1) 10月: e-bike試乗の結果を踏まえ走行コースの実証、お客のターゲット、需要の確認、モニターツアーのコース選定(モニターツアーは2～3のコースを実証)、日程、参加費、アンケート案等</p> <p>2) 11月: コースマップ作製、モニターツアーの最終要綱決定、モニターツアーの参加者募集</p> <p>3) 12月: 第1回・第2回モニターツアー</p> <p>4) 3月: 第3回・第4回モニターツアー実施、プロモーション用写真パネル・動画作成</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(40) %程度</p> <p>1. 地元関係団体への説明会(地域の自治会、城山里地里山観光振興協議会、城山まちづくり会議等)</p> <p>2. 城山自然の家訪問者数(6月より正式に開設)は広く宣伝していない中6～9月までの月平均で50名訪問)</p> <p>3. e-bikeツアー検討部会メンバーによる試乗会開催(コースを変え2回実施、16人試乗参加)</p> <p>4. e-bikeモニターツアーの開催(12月と3月実施のため実績なし)</p> <p>5. e-bike検討部会会議は6月から毎月開催、(9月、10月は月2回開催)</p> <p>※城山自然の家、e-bikeツアー共4月～7月は準備期間としての活動であったため、実質的な活動は8月以降となり事業達成は下期の活動による。</p>					
事業予算額	2,093 千円					
うち市負担金額	1,815 千円 (市負担割合 87 %)					

令和6年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	2,426 千円	(当初提案時の金額 : 2,740 千円)
令和6年度 市負担金希望額	1,941 千円	(当初提案時の金額 : 2,192 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通: 情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体: 自己評価、行政: 実施団体に対する評価)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政: 自己評価、実施団体: 行政に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか: 計画の妥当性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・役割分担については事業の進行が市主導となっていた印象であるが、e-bike試乗会を経て課題が具体化しつつあり、今後実施団体との役割分担も明確化が容易になることから、更に協働で進めていく体制づくりが可能と考える。 ・全体的に順調に進んでいるが、コースマップの作成については、モニターツアーによる試行を重ねてから実施するのが現実的と考える。				
B : 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・一年を通して多様な観光資源をもつ城山エリアで快適に周遊できる二次交通手段のニーズは高く、またe-bikeは幅広い世代が利用可能なツールであることから、効果的な取り組みと期待されている。 ・実施団体及び地域住民、地元大学などの様々な連携先の参画により、それぞれの特性が活かされた多様な意見が事業に反映されている。また、e-bike走行の魅力を高めるコース作成について、公道をはじめ、農道など地域理解が必要な場所についても、地域が主体で行うことにより合意形成が図られやすく、スムーズに進捗している。 ・経費については、委託先の精査により適切な予算の運用が見込めている。				
C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・市との協働によって、公共施設の活用や事業への助言や、他団体の成功事例の情報提供などが得られている。 ・市民団体との協働によって、城山の観光資源の魅力の再発見や城山自然の家の活用につながっている。 ・市民団体との協働によって、本事業の中で自治会や法政大学といった団体の連携が実現しており、会議の間では幅広い世代や立場からの活発な意見交換が生まれ、今後のモニターツアーや事業への反映が期待される。				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・双方の立場を理解し、かつ対等な関係で事業に対して前向きに取り組むことができています。 				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 ・本事業は、今後、中山間地域の振興における類似課題の解決にもつながると考えている。試乗会を経て、e-bikeのもつポテンシャルの高さがわかり、本事業の今後の可能性に期待している。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げるのでない事業だと思いますか。 ・実施団体のネットワークにより、地域住民や地元大学との連携が実現しており、多様な意見交換や協力をいただくことができた。 ・自転車を活用した事業については地域理解が必要なことから、協働することで成果が上がりやすい。 ・e-bikeツアーの継続的な運営については、担い手の確保が不可欠であることから、地域住民や地元大学との協働が必要と考える。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) ・役割分担については事業の進行が市主導となっていた印象であるが、e-bike試乗会を経て課題が具体化しつつあり、今後は実施団体との役割分担も容易になることから、より一層協働を進めていく体制づくりが可能と考える。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。 他の観光協会からも本事業は注目されており、城山観光協会の前向きな姿勢・取組が評価されていると感じる。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。 ・当課が主管する本市のサイクルツーリズムは中山間地域という特性上、ターゲットを中上級者向けに絞った施策としていたが、本事業により年齢・世代、体力の垣根を超えたツーリズムに広げることができた。 ・地域と行政が連携する取組に共感いただき、自転車販売業の大手民間事業者に参画いただけることとなった。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。 実際にe-bikeを体験したことで商品化イメージが湧き議論が活発化すると同時に、ガイドの育成、商品として販売するためのコンテンツのクオリティ等、継続的な事業として昇華させていくことに不安も感じていることと思います。地域がプレーヤーになることをはじめ、プレーヤーを誘致できる環境を地域で作っていくなど、選択できる手法は多様にありますので、短期的な成果を狙いつつも、3年という事業期間を最大限に生かして一つずつ課題と対応策を検証していきましょう。引き続き一緒に事業を進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。				
その他					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業					
団体の名称	野生動物との共生の会					
事業担当課	緑区役所区政策課					
事業の概要	鹿や猪は農作物を荒らすとして有害獣として扱われるが、野生動物の命の尊厳を守り、野生動物と人間との共生の在り方について市民と共に考える場を作り、生物多様性の保全と理解を促進する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>野生動物の捕獲の必要性、生物多様性や適正管理、野生動物の命の尊厳や肉や皮の利活用などを学ぶ機会を提供しながら、野生動物と人間との共生の在り方について、相模原市民の身近な課題として、地域と一緒に考えていくこと。残りの実施期間では、残り1回(計7回)を行い、革小物づくりに対し計画通りの体験者数に達するよう努める。</p>					
令和5年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>1. パネルを使用した説明と革小物づくり体験の実施 パネル1枚目: 農作物の被害状況 パネル2枚目: 農作物の被害に対する取り組みや対策 パネル3枚目: 狩猟とは? 有害鳥獣とは? パネル4枚目: 肉や皮(生物資源)の利活用方法 パネル5枚目: 「野生動物との共生の会」の活動 パネル6枚目: シカ・イノシシ捕獲マップ 獣見たよMAPの掲示</p>					
令和5年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>7月; アリオ橋本店4回開催(緑区)、8月; プレジャーフォレスト1回開催(緑区) パネル7枚を使用し、農作物への有害鳥獣による被害状況やその対策について説明すると共に、革小物づくり体験を通して、肉や皮の有効活用方法や人間と野生動物との共生の在り方について市民と共に考える場を提供した。</p>					
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>10月; ユニコムプラザさがみはら1回開催(南区) 11月; 相模原市農業まつり(中央区)にて、同様の革小物づくり体験を行う 12月以降; 体験者のアンケートを分析し、来年度に向けた課題や改善点を考える。より分かり易く説明するため、パネルの修正や内容を吟味する。</p>					
	<p>9月末現在での事業達成度 ・ ・ ・ (63) %程度</p> <p>成果をはかる指標(体験者数の達成率と市民の理解促進程度)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>パネル掲示・説明と革小物づくり体験の計画(100名x7回=700名)の内、5回を終えた時点で439名の市民へ学習・体験をもらった。(61名、97名、120名、105名、56名)</p>					
事業予算額	834 千円					
うち市負担金額	743 千円 (市負担割合 89 %)					

令和6年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	1,140 千円	(当初提案時の金額 :	1,329 千円)
令和6年度 市負担金希望額	1,022 千円	(当初提案時の金額 :	1,189 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民	<input type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d	
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)					
	行政側と団体側で、お互いの役割を明確にしてそれぞれが責任を持って行えた。					
B : 事業の評価		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d	
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)					
	体験者の数やアンケート調査の内容を分析した結果、市民の方にとって有意義な内容になっていると判断できる。革小物自体は決して安いものではないが、自らものづくりをすることで、すぐに捨てられてしまうものではなく大事にされるものとなり、費用に見合った学習と体験をしてもらえていると思われる。					
C : 協働したことの効果		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d	
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)					
	行政では市民に伝えづらいこと(動物捕獲など命に関わる繊細で慎重にならざるを得ないこと)についても、団体として市民に丁寧に説明することができた。					

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>パネルの制作にあたり、内容についてやり取りを繰り返し、充実した内容に仕上げることができた。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	多くの市民の方に知られていないこと(農作物の被害状況や対策など)を学んでもらい、興味を持ってもらえたことは非常に価値のあることと思われる。また、革小物づくり体験では、実際に革に触れ楽しんで貰いながら、命について考えるきっかけや、野生動物と人間のとの共生のあり方を考えてもらえる場の提供ができ、非常に有意義な活動であった。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	当団体のみでの活動では開催場所の確保が難しかったが、市との協働事業であることで、多くの市民に学習・体験いただける場所を得られた。また、パネルの内容を鳥獣対策班の専門の方にご教授いただけ、内容に対して信ぴょう性の担保を得られ、かつ当団体の偏りのない客観性を持った内容に仕上げることができた。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	鳥獣対策班の持つ専門知識や正確な情報を、当会が市民の方に説明するという、それぞれの役割を明確にし実行できた。革の原料に予算が必要であったが、市に大半を負担いただいたことにより、自己負担のみでは難しかったワークショップを行えた。				
F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。 <p>パネルの字を読むことができない子供の体験者やパネルに目を通していない大人の体験者には、革小物づくり体験の前に、「この革は相模原市内で捕獲されたシカやイノシシであること」、「革は動物の命の一部であること」、「農作物被害を減らすために野生動物を捕獲する必要があること」、「捕獲された野生動物の肉や皮を利活用すべきこと」などを、丁寧に一人ずつ説明したこと。</p>				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。 <p>革小物を自分の手で作った子供たちからは、自分で作れて楽しかったと多くの意見をいただいた。市内の小学校の校長から、授業の一環として学校内でも是非行っていただきたいと依頼を受けた。プレジャーフォレストに来ていた部活動中の高校生の団体から、学習の一環として生徒に説明してほしいと依頼を受け、その場で短い授業を行った。その他、興味深かった、楽しかった、知らないことばかりだった、勉強になった、これからも頑張る、などの声をいただいている。</p>				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。 <p>体験された教員の方から、授業をして欲しいという依頼がいくつもあり、活動の場が広がった。</p>				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。 <p>次年度も開催場所の確保においてお力をお貸しいただきたい。また、より分かり易く正確なパネル作成のため、新しいデータ(市内の捕獲数など)をご提供いただきたい。その他、実施方法や内容などご意見をいただきたい。</p>				
その他					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業					
団体の名称	野生動物との共生の会					
事業担当課	緑区役所区政策課					
事業の概要	鹿や猪は農作物を荒らすとして有害獣として扱われるが、野生動物の命の尊厳を守り、野生動物と人間との共生の在り方について市民と共に考える場を作り、生物多様性の保全と理解を促進する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>野生動物の捕獲の必要性、生物多様性や適正管理、野生動物の命の尊厳や肉や皮の利活用などを学ぶ機会を提供しながら、野生動物と人間との共生の在り方について、相模原市民の身近な課題として、地域と一緒に考えていくこと。残りの実施期間では、残り2回(計7回)を行い、革小物づくりに対し計画通りの体験者数に達するよう努める。</p>					
令和5年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>1. パネルを使用した説明と革小物づくり体験の実施 パネル1枚目: 農作物の被害状況 パネル2枚目: 農作物の被害に対する取り組みや対策 パネル3枚目: 狩猟とは? 有害鳥獣とは? パネル4枚目: 肉や皮(生物資源)の利活用方法 パネル5枚目: 「野生動物との共生の会」の活動 パネル6枚目: シカ・イノシシ捕獲マップ 獣見たよMAPの掲示</p>					
令和5年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>7月; アリオ橋本店4回開催(緑区)、8月; プレジャーフォレスト1回開催(緑区)。パネルを使用し、農作物への有害鳥獣による被害状況やその対策について説明すると共に、革小物づくり体験を通して、肉や皮の有効活用方法や人間と野生動物との共生の在り方について市民と共に考える場を提供した。</p>					
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>10月; ユニコムプラザさがみはら1回開催(南区)、11月; 相模原市農業まつりにて同様の革小物づくり体験を行う、12月以降; 体験者のアンケートを分析し、来年度に向けた課題や改善点を考える。より分かりやすく説明するため、パネルの修正や内容を吟味する。</p>					
	<p>9月末現在での事業達成度・・・(63) %程度</p> <p>成果をはかる指標(体験者数の達成率と市民の理解促進程度) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 パネル掲示・説明と革小物づくり体験の計画(100名x7回=700名)の内、5回を終えた時点で439名の市民へ学習・体験をもらった。(61名、97名、120名、105名、56名)</p>					
事業予算額	834 千円					
うち市負担金額	743 千円 (市負担割合 89 %)					

令和6年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	1,140 千円	(当初提案時の金額 : 1,329 千円)
令和6年度 市負担金希望額	1,022 千円	(当初提案時の金額 : 1,189 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通: 情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体: 自己評価、行政: 実施団体に対する評価)	a	b	c	d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政: 自己評価、実施団体: 行政に対する評価)	a	b	c	d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか: 計画の妥当性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 事業開催において、随時報告を受け、情報を共有しながら、役割を明確にして事業を行うことができた。				
B : 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 団体のノウハウを事業に生かすことができた。				
C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 団体と協働事業を行うことで、新たに情報発信の方法を創出できた。				

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>事業を行うにあたり、役割分担を理解し、情報を共有することで充実した事業が行えた。</p>				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 <p>パネルを使用して有害鳥獣による被害状況やその対策について説明し、革小物づくり体験を通して肉や皮の有効活用方法や野生動物との共生のあり方について、市民とともに考える場の提供ができた。</p>	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 <p>団体と協働することで、団体のノウハウを生かし、野生鳥獣の被害の実態を周知することで市の取り組む被害対策についての理解促進を深めることができた。</p>	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) <p>経費の額や負担割については、今後事業を継続するにあたり、受益者負担を増額するなど、財源を増やす必要がある。</p>	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
F：その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。				
その他					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業					
団体の名称	相模原市印刷広告協同組合					
事業担当課	観光・シティプロモーション課					
事業の概要	現在、相模原市には、シビックプライドを醸成するための代表的な教育プログラムはなく、市の魅力を「パズルとクイズカード」で遊びながら学べ、シビックプライドを涵養する教育プログラム（＝ゲーム）を開発する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>相模原市のまちづくりを進める上での基礎的単位である22地区のピースでできているパズル（2000個寄贈）と22地区のクイズを連動させて「楽しく学び」ながらシビックプライドが向上するようにゲームの運営方法を研究し、内容の充実を目指していく。</p>					
令和5年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>「シビックプライド向上ゲーム」の開発として、「22地区クイズカード（標準版）のデータベース」を作成し、「出力版クイズカード（PDF）」・「電子ブック版クイズカード」・「クイズの作り方ガイドブック（さがみはらクイズ創作ノート）」・「さがみん教室（仮称）運営用の進行スライド」を作成する。また、クイズの発信、クイズの募集や出前授業をサポートする「さがみん教室（仮称）サイト」を開発する。完成した「シビックプライド向上ゲーム」の出前教室のプロトタイプ版を1～3回程度実施する。</p>					
令和5年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>①22地区クイズカード（標準版）のデータベース、②出力版クイズカード（PDF）、③電子ブック版クイズカード・④クイズの作り方ガイドブック（さがみはらクイズ創作ノート）、⑤「シビックプライド向上ゲーム」の出前教室＝さがみん教室（仮称）運営用の進行スライドを作成し、さらに、クイズの発信、クイズの募集や出前授業をサポートする「さがみん教室（仮称）サイト＝さがみん教室情報局（https://nisso.sakura.ne.jp/sagamin.classroom）（仮称）」を開発。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>クイズの作り方ガイドブック（さがみはらクイズ創作ノート）を完成させる。また、「シビックプライド向上ゲーム」の出前教室＝「さがみん教室（仮称）」のプロトタイプ版を1～3回実施する。さらに、PR動画の作成、運営マニュアル（冊子・動画）を作成する。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・（60）％程度</p> <p>成果をはかる指標（ゲームの作成、プロトタイプ版出前教室の開催）</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>①22地区クイズカード（標準版）のデータベース：フォーマットに随時更新中</p> <p>②出力版クイズカード（PDF） 初級編1と2、上級編1と2の4種類（最終的な内容チェック中） テーマ編の1種原稿作成中</p> <p>③クイズの作り方ガイドブック（さがみはらクイズ創作ノート）作成中（80％完成）</p> <p>④運営用の進行スライド（データ完成、内容チェック中）</p> <p>⑤さがみん教室（仮称）サイト 作成中 80％完成</p> <p>https://nisso.sakura.ne.jp/sagamin.classroom</p> <p>⑥プロトタイプ版出前教室 11/14（火）学びのライブ塾にて実施決定、場所：相模原市南保健福祉センター 時間：10：00～11：30（90分）</p>					
事業予算額	730 千円					
うち市負担金額	650 千円 （市負担割合 89 %）					

令和6年度の事業継続を



希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	55 千円	(当初提案時の金額 :	100 千円)
令和6年度 市負担金希望額	44 千円	(当初提案時の金額 :	80 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 当初の計画よりも質の高い標準版クイズとクイズの作り方ガイドブック(さがみはらクイズ創作ノート)が完成する予定。その分、標準版クイズを公共性・汎用性の高い内容にするための精査に予定より時間が必要となった。また、クイズの作り方ガイドブックに掲載する「各地区の参考キーワード」の作成において、キーワードにできる情報に差があり、クオリティを揃えるための調査に時間がかかっている。				
B : 事業の評価		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 標準版クイズとクイズの作り方ガイドブック(さがみはらクイズ創作ノート)の作成にあたり、全地区の「まちづくり会議報告書・会議録」を拝見し、シビックプライド向上ゲームのクイズ創りを通して、各地区の課題としている地域のPRにつなげる活動に展開できると思います。また、経費以上の事業内容になると思います。				
C : 協働したことの効果		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 市や市関連の発行・発信物(各区のガイドマップや公式サイト等)を有効活用したクイズ創りと、協働によるダブルチェックを行なうことで、あいまいな情報がなくなるとともに、シビックプライド向上につなげるクイズとは何かを深めたデータベース化ができてきています。				

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>それぞれの特性を活かして事業に取り組んでいます。</p>				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22地区のパズルとクイズを連動させて相模原市民のシビックプライドを向上させるゲームができることで、子どもから大人までが一緒にさがみはらを楽しく学べる場がとれることと、ゲームを通して、お互いの地区、区に関心を持ち、よりよい地区・区・市づくりを考えるキッカケにできるので事業をやって良かったと思います。					
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げるのでできない事業だと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
シビックプライド向上ゲームは、標準版として公共性・汎用性の高い良質なクイズを作成する必要があり、これは公的な視点と民間の視点をかけ合わせた協働事業である必要があります。					
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものなっていますか。(互いの経費負担も含む)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
それぞれの特性を活かした事業なので、役割分担は適切なものになっています。					
F：その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。				
	標準版クイズをつくるために、情報源は以下の優先順位で調査し、根拠を明確にしています。 ①公式ガイドマップ(緑区・中央区・南区) ②各地区まちづくり会議 報告書・会議録 ③各地区関連ガイド・ガイドマップ ④公式ホームページ・パンフレットなど				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。				
	子どもから大人までが22地区のパズルとクイズでさがみはらを楽しく学び、シビックプライドを向上させるゲーム開発事業であるとともに、ゲームの中で自分でクイズをつくったり、さがみん教室サイト(仮称)に応募するクイズをつくったりすることで、各地区の特徴や課題が顕在化していくので、22地区それぞれのまちづくりにおいて、自分達の地区に必要なことを考えるキッカケとなり、足りないものは他の地区と連携してみるなどのまちづくり活動にもつなげていきたい。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。				
	シビックプライド向上につなげるクイズの質に対する公的な立場からのチェックをさらにお願いいたします。				
その他					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業					
団体の名称	相模原市印刷広告協同組合					
事業担当課	観光・シティプロモーション課					
事業の概要	現在、相模原市には、シビックプライドを醸成するための代表的な教育プログラムはなく、市の魅力を「パズルとクイズカード」で遊びながら学べ、シビックプライドを涵養する教育プログラム(＝ゲーム)を開発する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>相模原市のまちづくりを進める上での基礎的単位である22地区のピースでできているパズル(2000個寄贈)と22地区のクイズを連動させて「楽しく学び」ながらシビックプライドが向上するようにゲームの運営方法を研究し、内容の充実を目指していく。</p>					
令和5年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>「シビックプライド向上ゲーム」の開発として、「22地区クイズカード(標準版)のデータベース」を作成し、「出力版クイズカード(PDF)」・「電子ブック版クイズカード」・「クイズの作り方ガイドブック(さがみはらクイズ創作ノート)」・「さがみん教室(仮称)運営用の進行スライド」を作成する。また、クイズの発信、クイズの募集や出前授業をサポートする「さがみん教室(仮称)サイト」を開発する。完成した「シビックプライド向上ゲーム」の出前教室のプロトタイプ版を1～3回程度実施する。</p>					
令和5年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何か。</p> <p>①22地区クイズカード(標準版)のデータベース、②出力版クイズカード(PDF)、③電子ブック版クイズカード・④クイズの作り方ガイドブック(さがみはらクイズ創作ノート)、⑤「シビックプライド向上ゲーム」の出前教室＝さがみん教室(仮称)運営用の進行スライドを作成し、さらに、クイズの発信、クイズの募集や出前授業をサポートする「さがみん教室(仮称)サイト＝さがみん教室情報局(https://nisso.sakura.ne.jp/sagamin.classroom) (仮称)」を開発。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何か。</p> <p>クイズの作り方ガイドブック(さがみはらクイズ創作ノート)を完成させる。また、「シビックプライド向上ゲーム」の出前教室＝「さがみん教室(仮称)」のプロトタイプ版を1～3回実施する。さらに、PR動画の作成、運営マニュアル(冊子・動画)を作成する。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(60) %程度</p> <p>成果をはかる指標(ゲームの作成、プロトタイプ版出前教室の開催)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>①22地区クイズカード(標準版)のデータベース：フォーマットに随時更新中</p> <p>②出力版クイズカード(PDF) 初級編1と2、上級編1と2の4種類(最終的な内容チェック中) テーマ編の1種原稿作成中</p> <p>③クイズの作り方ガイドブック(さがみはらクイズ創作ノート)作成中(80%完成)</p> <p>④運営用の進行スライド(データ完成、内容チェック中)</p> <p>⑤さがみん教室(仮称)サイト 作成中 80%完成</p> <p>https://nisso.sakura.ne.jp/sagamin.classroom</p> <p>⑥プロトタイプ版出前教室 11/14(火) 学びのライブ塾にて実施決定、場所：相模原市南保健福祉センター 時間：10:00～11:30(90分)</p>					
事業予算額	730 千円					
うち市負担金額	650 千円 (市負担割合 89 %)					

令和6年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	55 千円	(当初提案時の金額 : 100 千円)
令和6年度 市負担金希望額	45 千円	(当初提案時の金額 : 80 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 月に1回程度、市と団体でミーティングを行っており、事業に関する方向性や双方の役割分担について情報共有がなされていると考える。				
B : 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 昨年度策定した「シビックプライド向上計画」において、シビックプライドを向上させるためには、「相模原市と関わりのあるみんな」が市の魅力を認知し、市と一緒に魅力を発信していくことが重要であるとしているが、『シビックプライド向上ゲーム』は市の魅力を探し、その中で見つけた魅力をクイズにして遊ぶものであることから、「シビックプライド向上計画」の趣旨に合致していると考えられる。				
C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 『シビックプライド向上ゲーム』の完成後、小学校や公民館などの出前授業を通して『シビックプライド向上ゲーム』が普及すれば、さらなるシビックプライドの向上が期待できると考える。				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>新たな課題が生じた際も、ミーティングにて情報共有を図りつつ、互いの立場や得意分野を理解し、役割分担することができた。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 シビックプライド向上計画において、行政だけで行うものではなく、「相模原市と関わりのあるみんな」が市の魅力を認知し、さらなる市の魅力の発掘と向上を図りながら、協働で市の魅力を発信していくことが必要であると定めているが、今回の『シビックプライド向上ゲーム開発事業』はまさにその趣旨に合致した者であり、非常に意味のあるものであると感じている。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 団体と意見交換をすることにより、新たなアイデアが生まだすことができ、今後の事業展開に生かせる。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 適切である。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。 昨年度策定した「シビックプライド向上計画」において定めた、市の4つのアピールポイント(『子育てしやすいまち』『都市と自然のベストミックス』『宇宙を身近に感じられるまち』『スポーツに親しめるまち』)を意識した上で、コンテンツ(クイズカードなど)の作成を心掛けた。				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。 クイズカード作成の過程で、ゲーム参加者が本市の魅力に触れることは、さらなるシビックプライドの向上に寄与する。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。 今後も情報共有を密にし、事業に取り組んでいきたい。				
その他					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業					
団体の名称	特定非営利活動法人自遊クラブ					
事業担当課	森林政策課					
事業の概要	森林面積が6割の相模原市には、街に接する里山林が多数あるが、その活用が不十分のため、手入れや再生が行き届かない里山林が多い。そのために、里山林の積極的な活用を通して、その保全と再生を図る。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	里山林の新たな保全と活用と市民啓発を進めるために、パートナー3団体が得意分野を発揮して幅広い取り組みを行う。					
令和5年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何ですか。					
	里山林の環境活用として、feel度Walk、ネイチャーゲーム、森林浴、マウンテンバイク、企業間伐体験を行い、里山林の木材活用として、グリーンウッドワーク、広葉樹出荷（学習天板利用）、早生広葉樹育林を行う。 里山林の保全・再生として、新たな自伐型林業に取り組み自ら移動路作設を行う。 市民啓発として、市民イベントに参加するとともに、相模原市主催の「里山体験講座」の運営に協力する。					
令和5年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	<ul style="list-style-type: none"> <里山林の環境活用> ・feel度Walk（5/20）・企業間伐体験（5/13） <里山林の木材活用> ・グリーンウッドワーク（9/24） <里山林の保全・再生> ・センダンの芽かき（4～8月） <里山林の市民啓発> ・若葉まつり（5/13～14） 					
	残りの半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	<ul style="list-style-type: none"> <里山林の環境活用> ・森林浴（10/14,11/4）マウンテンバイク（11/5） ・企業間伐体験（11/26）・feel度Walk（12/3）・ネイチャーゲーム（12/9） <里山林の木材活用> ・グリーンウッドワーク（10/29） <里山林の保全・再生> ・移動路作設（10月～1月）・広葉樹集材・出荷（1～3月） <里山林の市民啓発> ・sc相模原イベント（10/28）・市民活動フェスタ（11/5） 					
	9月末現在での事業達成度・・・（ 30 ）%程度					
成果をはかる指標（ 年間予算の9月までの実施額 ） 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 年間予算：3,168,000円 上期実施額：954,000円（30%） ※5/27予定の森林浴はロードレースイベントと重なり10月に延期した						
事業予算額	3,168 千円					
うち市負担金額	2,682 千円 （市負担割合 85 %）					

令和6年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	4,231 千円	(当初提案時の金額 :	4,231 千円)
令和6年度 市負担金希望額	3,225 千円	(当初提案時の金額 :	3,385 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 森林環境活用事業(アクティビティ)は、協働事業協定後の実施で夏の暑い時期を避けたため、下期に集中する計画になった。 ロードレースイベントと重なり交通支障のため、下期に延期した事業(1件)があったが、概ね計画通りに進んでいる。				
B : 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) この協働事業テーマは「さがみはら森林ビジョン」にもある課題で、多くの市民が課題と感じているもので、その多様な対策事例の一つになると考えて取り組んでいる。				
C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 相模原市と3団体が得意分野を発揮して幅広い活動が出来ている。				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 相模原市と3団体は、共通の問題意識を持って、協力して取り組んでいる。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 この協働事業は「さがみはら森林ビジョン」にもある課題で、その対策事例になると考えて取り組んでいる。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 里山林の課題対策は幅広く資金も必要なので、行政・民間団体など多くの主体が関わって取り組む必要がある。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 相模原市には資金と、広報の一部を分担してもらっているが、適切と考える。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。 相模原市と3団体の協働事業のため、それぞれの得意分野を發揮してもらうように事業分担をして進めている。				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。 センダンの苗木は他の4団体に分けたし、植林の様子をTBSの赤坂サカスイベント用に撮影依頼された。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。 相模原市(森林政策課)の主催事業「里山体験講座」の依頼があり、協働事業3団体が中心に運営協力をしている。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。 広報は公民館などへのチラシ配布以外に、メディアなどへのリリースも一緒に検討したい。				
その他					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業					
団体の名称	特定非営利活動法人自遊クラブ					
事業担当課	森林政策課					
事業の概要	森林面積が6割の相模原市には、街に接する里山林が多数あるが、その活用が不十分のため、手入れや再生が行き届かない里山林が多い。そのために、里山林の積極的な活用を通して、その保全と再生を図る。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	里山林の新たな保全、活用、市民啓発を進めるために、パートナー3団体が得意分野を発揮して幅広い取り組みを行う。					
令和5年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。					
	里山林の環境活用として、feel度Walk、ネイチャーゲーム、森林浴、マウンテンバイク、企業間伐体験を行い、里山林の木材活用として、グリーンウッドワーク、広葉樹出荷（学習天板利用）、早生広葉樹育林を行う。 里山林の保全・再生として、新たな自伐型林業に取り組み自ら移動路作設を行う。 市民啓発として、市民イベントに参加するとともに、相模原市主催の「里山体験講座」の運営に協力する。					
令和5年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	<ul style="list-style-type: none"> <里山林の環境活用> ・feel度Walk (5/20) ・企業間伐体験 (5/13) <里山林の木材活用> ・グリーンウッドワーク (9/24) <里山林の保全・再生> ・センダンの芽かき (4~8月) <里山林の市民啓発> ・若葉まつり (5/13~14) 					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	<ul style="list-style-type: none"> <里山林の環境活用> ・森林浴 (10/14,11/4) マウンテンバイク (11/5) ・企業間伐体験 (11/26) ・feel度Walk (12/3) ・ネイチャーゲーム (12/9) <里山林の木材活用> ・グリーンウッドワーク (10/29) <里山林の保全・再生> ・移動路作設 (10月~1月) ・広葉樹集材・出荷 (1~3月) <里山林の市民啓発> ・SC相模原イベント (10/28) ・市民活動フェスタ (11/5) 					
	9月末現在での事業達成度・・・(30)%程度					
成果をはかる指標 (事業実施件数) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 4月~9月の事業実施件数:5件(5/27予定の事業はロードレースと重なり10月に延期) 4月~3月の事業計画件数:17件(協働事業協定後の実施計画のため下期に集中)						
事業予算額	3,168 千円					
うち市負担金額	2,682 千円 (市負担割合 85 %)					

令和6年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和6年度 事業予算額	4,231 千円	(当初提案時の金額 :	4,231 千円)
令和6年度 市負担金希望額	3,225 千円	(当初提案時の金額 :	3,385 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>				はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ツアーオブジャパンとイベントの日程が重なり、イベント会場への交通ルートの確保が難しくなったため、1件事業の延期があった。交通規制などの情報提供をすべきであった。								
B : 事業の評価		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>				はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)								
C : 協働したことの効果		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>				はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)								

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 本事業は、市が実施する中山間地域対策事業のプレスツアールやコミュニティビジネスの研修の場としても活用されている。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 本事業は、地権者、民間団体及び行政が連携した取組が必要と考える。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 役割分担は適切であると考えている。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
F：その他 (以下は必要に応じてお書きください。)					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。 イベントの参加募集に市広報を活用しているが、紙面が限られているため二次元コードを掲載し、詳しい事業内容と参加登録を行うこととした。				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。 実際に森の中のイベントに参加することで、森の楽しさや必要性を知ることができた。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。 総合メディア戦略推進課や産業支援課が企画した事業にも協力いただいた。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。 イベントへの新規参加者を確保するため、SNSやメディアを活用した周知にご協力ください。				
その他					

審査会採点および意見

事業の ・有効 効果性	事業は地域や市民のニーズを的確に捉え、市民が抱える公共的課題に込えているか。	
	/ 5	コメント
協働の 必要性	単独よりも協働して取り組むことで、より高い効果・成果を得られているか。	
	/ 5	コメント
役割 分担の 妥当性	協働の関係性や役割分担は適切か。	
	/ 5	コメント
経費の 妥当性	事業の必要性、協働の必要性等を勘案し、事業経費や負担割合は適切なものであるか。	
	/ 5	コメント
継続の 妥当性	課題解決のために協働事業提案制度において継続することが妥当か。	
	/ 5	コメント
合計	/ 25	

普通＝3点を
基準として採点

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

協働事業提案制度審査作業部会 委員名簿

No.	氏名	構成員名	現職
1	石川 壽々子 <small>いしかわ すずこ</small>	相模原市市民協働 推進審議会委員	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 理事
2	伊豫田 竜二 <small>いよだ りゅうじ</small>	アドバイザー	伊豫田中小企業診断士事務所 中小企業診断士
3	長澤 敬子 <small>ながさわ けいこ</small>	相模原市市民協働 推進審議会委員	相模原市公民館連絡協議会 副会長
4	平山 易申 <small>ひらやま やすのぶ</small>	アドバイザー	西武信用金庫橋本支店 支店長
5	妻鹿 ふみ子 <small>めが しみこ</small>	相模原市市民協働 推進審議会委員	東海大学 健康学部 教授